



ほげんだより

22年度2・3月号
明照保育園



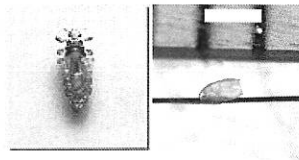
【子どもの健康状態】

1月中はどの学年も熱や嘔吐下痢の症状が数人出ていましたが、比較的元気に登園することができていました。2月に入り、どの学年も熱でお休みする子が増え、今年のお遊戯会は熱でお休みになってしまった子が数人いましたが、体調管理などご協力ありがとうございました。感染症としては、インフルエンザ（幼児14人、乳児6人）水痘（幼児2人）流行性耳下腺炎（幼児1人）結膜炎（乳児3人）アデノウィルス（幼児1人）肺炎球菌（乳児1人）、他に喘息（幼児2人）中耳炎（幼児1人、乳児2人）がいました。乳児クラスで数人しらみがありましたので、園でもご家庭でも注意して見ていきましょう。

【他の子にうつる前に予防しましょう】

★アタマジラミ★

子どもの髪の毛に寄生します。1週間くらいで髪の毛に産み付けられた卵からかえり、約3週間で3回脱皮して成虫に。成虫の寿命は1～1ヵ月半。成虫は1日に約5個の卵を髪の毛の根元付近に固着させて産卵。成虫、幼虫ともに血を吸うので頭がかゆくなります。主に髪と髪の毛の直接の接触で感染します。園でも頭を触れながら遊んだり、昼寝したりするため、こまめにチェックし、見つけたらすぐにお知らせします。しかし1番確実なのはご家庭でも注意して見ていただくことです。



*** アタマジラミを見つけたら ***

病院や薬局で相談し、早急に駆除をしましょう。そして 必ず担任にお知らせください

◎ 専用の駆除剤（シャンプーなど）で3日に1度（3日おき）のペースで3～4回繰り返す。

◎ 目の細かい専用のくしで、卵や成虫をすきとる方法もあります。

（注意：駆除は途中で終わらせないで、1～2時間かけて一度で済ませます。）

◎ 卵には薬剤は効かないので、枕カバー、シーツ、タオル、帽子などは共有せず、毎日取り替えて、熱処理をしてから洗濯を！！熱湯や乾燥機、アイロンで除去できます。

（60℃以上の温水または温風で5分以上処理すれば完全に成虫と卵の駆除が可能）

常に清潔にしていたとしても、小さい子どもの集団生活では頭部の清潔不潔に無関係でうつります。早めの駆除が発生拡大の防止につながりますので、ご協力よろしくお願いします。

【3月3日は耳の日ー耳を大切にしようー】

■滲出性中耳炎とは

8歳以下の子どもの多く見られます。鼓膜の内耳腔に滲出液が溜まっている為、鼓膜の振動が妨げられて耳の聞こえが悪くなります。急性中耳炎が完全に治りきってなかった場合や鼻の病気やアデノイド（鼻と喉の境目にある扁桃が大きくなる病気）があって耳管の通りが悪いときに起こります。

耳の聞こえが悪かったことで、乳幼児期に発達の遅れの1つの原因となっていたことも実際にありました。

小さい子は自分だけでは気がつきにくく、それまでは耳がよく聞こえていたのに最近では聞き返すことが多い、ちょっと離れたところから呼んでも返事をしない、TVのボリュームを大きくしないと聞こえない等、どうも耳が聞こえにくいようだと言われたら家族の方が気づいて受診する事が多いようです。

また滲出液がたまっているため、細菌感染を起こしやすく、急性中耳炎を起こしやすくなります。

■急性中耳炎とは

風邪を引いたときにウイルスが中耳に進入し化膿する病気です。大人に比べ乳幼児耳管は短く太く水平になっているため、のどからウイルスが容易に入り込みやすい、つまり中耳炎になりやすいのです。

症状としては、高い熱が出て耳を痛がったりします。痛みを訴えられない赤ちゃんや子どもの場合、溜まった膿が鼓膜を破って出てきます（みみだれ）

以上のような症状が見られるときは、早めに耳鼻科を受診しましょう。子どもや保護者が努力しても繰り返すときは繰り返してしましますが、治療を途中でやめると長引くことや悪化する事があります。子どもが成長すれば中耳炎はかかりにくくなります。医師の診察結果や治療方針を納得のいくまで聞いて、そのつど治していきましょう。

【おわりに】

今年度はどんな一年でしたか？だんだんと暖かくなってきましたが、体調を崩している子は、体を休めるときはしっかり休めて、残り少ない学年末を健康に過ごせるといいですね。

ひとまわりもふたまわりも大きく育った子どもたちが、これからもどんな芽を出し、どんな花を咲かせるか楽しみですね(*^_^*)